

全患者・スタッフ 様

太田メディカルクリニック患者会会報—原則毎月発行

2024(令和6)年11月25日(月)発行

みどりの風

N0.57

安心・安全な透析のため
がんばる患者会

発行・編集責任(緑風会会长 大矢正明)

やっぱりすごい！ みんな一人一人の協力による 国会請願 署名の力！！



国会請願

署名の力！！



現在、私たち透析患者は、毎月一人につき40万～50万円、年間500万～600万円かかる透析費用がほとんど無料で、安心して透析生活が送れます。これは過去の患者会(全腎協・岐腎協等)の激しい運動で勝ち取った成果であることは歴史が証明しています。しかし、全国で無料であるのは岐阜県を含む19県のみです。あとの28都道府県はどちらかの自己負担が導入されています。ですから19県が無料で透析生活が送れることが永久不変のもではありません。いつ自己負担が岐阜県でも導入されるかもしれません。今後も導入されない様々な運動が必要です。その大きな運動の一つが今年も行なわれる国会請願署名です。後日配布します署名用紙には、透析費用無料制度継続を願うみなさんの思いを一筆に心を込めてご協力をよろしくお願ひ致します(大矢)

がんと診断された時

日本人で一生のうち癌になるのは2人に1人。いざ診断されると「まさか自分が」と混乱しますが、癌になったからといって、絶望しないで、正しい情報を知ることで、癌と診断されても本人と家族がよりよい人生を送ってほしいと述べておられるのは、日本医科大学腫瘍内科教授の勝俣範之先生。

医師の話は録音 一診断時に確認すること、もらっておきたいもの



必ず聞く 何のがん それは確定診断か 進行度・病期は
 どんな治療の選択肢があるか

できればもらう ◇ 病状説明書(検査の結果の病状と今後の治療方針を記載した書類)
◇ 病理検査リポート(生検の組織診断による所見)
◇ 画像診断リポート=CT、MRI、PET、エコー、内視鏡など(癌の大きさや広がりが記載)
◇ 血液検査報告書(今後の治療のバロメーター)

診断を受け止める時に大切なことは

「自分のせい」ではない

発症原因は「偶然」が6割 “生活習慣病”とは違う

機能していない腎臓も癌になりますへ腎がんへ

